

防災 not 亡き災

この災害は決して忘れることは無いだろう—
2011年3月11日午後2時46分、三陸沖で発生した東北地方太平洋沖地震は、マグニチュード(M)は9.0(暫定値)。1923年の関東大震災(M7.9)を上回る日本史上最大の地震となった。それだけではない、オホーツク海沿岸から小笠原諸島、四国まで大津波警報が発令。日本の沿岸の全てで、大津波警報、津波警報、津波注意報のいずれかが発令され、津波は10以上の高さで東北地方を襲った。地震と津波は、全てを飲み込み、私たちの大切なものを奪っていった。私たちはテレビや新聞などの報道を通じて地震の怖さ、災害の怖さを改めて実感させられた。だから、今できることを。今から始めなければならない。

日々の備えが命を守る

阪神・淡路大震災で亡くなった人の8割以上は家屋の倒壊による圧死、窒息死などが占め、けがの原因も家具の転倒による。けがが半数を占めている。また避難した際の救援物資が足りなくなることも少なくなかった。

非常持ち出し品の準備

避難時にすぐに取り出せる場所に保管し、家族の人数に合わせて用意してください。飲料水は1人1日3ℓ。食料は、1人3日分備蓄するようにしましょう。赤ちゃんや体の不自由な人がある家庭では、必要な日用品(おむつ、生理用品、常備薬など)も用意しましょう。

用意するもの

- ☐手ぶくろ ☐懐中電灯 ☐救急薬品
- ☐ろうそく ☐ライター・マッチ
- ☐ラジオ ☐ロープ など



このほかにも、
トイレ用ペーパータオル代わりとして
ウェットティッシュ(手の洗浄、ガーゼ代わりに)
ビニール袋(水を入れる。穴をあけて雨具にする)
ラップ(血にふれれば、洗わなくて済みます)
ジャップキ(倒壊した家屋から救助する際に使用)
などは、あればさらに役立ちます。

がんばれ東北 がんばれ日本

東北地方太平洋沖地震の1日も早い復興のために、大津町から1000万円の義援金を送りました。

3月16日から役場と町関連施設で東北地方太平洋沖地震義援金の受け付けを開始しました。3月25日時点で約300万円の義援金が集まっています。そして、3月19日から21日まで、役場ロビー・町総合体育館・矢護川コミュニティセンターで救援物資の受け付けを行いました。皆さんの3日間を通してのご協力とご支援で、義援金(約100万円)。毛布(約670枚)タオル(約14,700枚)バスタオル(約1,880枚)が集まりました。

また、宮城県に町所有の非常用備蓄食料品110万円分(カンパン、クラッカー、ビスケット、サバイバルパン、カロリーメイト、アルファ米)を自衛隊を経由して空輸し、被災地救援物資「水(ペットボトル500ml)5,016本」を福島県いわき市へ周辺市町村(熊本市、合志市、大津町、菊陽町)の合同で陸路輸送を実施しました。



町所有の非常用備蓄食料品を自衛隊のヘリを使い、空輸しました

一人ひとりの心が防災を忘れないこと。それが大事

日々の備えと防災の意識があれば、今できることはおのずと分かってくる。大切な人を守るために、大切な人と話をしよう。大津町は昨年度「地震防災マップ」と「洪水・土砂災害マップ」を作成し、全世帯に配布した。このマップは危険箇所や避難場所、非常用の持出品リストなどを掲載している。このマップを使って、家族で話しあおう。いざというときに、避難場所を話しあっておけば、災害の時でも落ち合うことができる。「違う避難場所にいるかもしれない」という心配もいらなくなる。やってみれば、難しいことではない、とにかく家族でマップを広げるだけで話ができる。それが家族防災会議になる。防災が「忘」災にならないように。それだけで助かる命があるはずだ。



さあ、今こそ家族防災会議を



家族防災会議を行う、佐藤守生さん・松枝さん・三宮寿文さん・美香さん・健太郎さん・愛さん・宏次郎さん・凜さん・蘭さん(高尾野)。家族で話し合うことで、防災意識が高まり、そして家族の絆を深くする。

今できること、覚えておくこと。それはそう難しいことではない—

操 作 手 順		伝言の録音		伝言の再生	
①	1 7 1 をダイヤル	1 7 1			
②	録音または再生 を選ぶ。	(暗証番号なし)	(暗証番号あり)	(暗証番号なし)	(暗証番号あり)
		1	3	2	4
			4桁の暗証番号をダイヤルしてください。		4桁の暗証番号をダイヤルしてください。
		XXXX		XXXX	
③	被災地の方の電話番号を入力する。	0 XXX XXX XXXX			
伝言ダイヤルセンタに接続します。					
④	メッセージの録音 メッセージの再生	ダイヤル式電話機 の場合	プッシュ式電話機 の場合	ダイヤル式電話機 の場合	プッシュ式電話機 の場合
		(ガイダンスが流れるま でお待ちください)	1 #	(ガイダンスが流れる までお待ちください)	1 #
伝言の録音			伝言の再生		
⑤	終了	自動で終話します。			

通話料は発生しません

通話料が発生します



災害時は電話がつながりにくく、被災地にいる家族、知人の安否確認が難しい。そんなときは「災害用伝言ダイヤル」サービスを利用しよう。声を伝言で30秒間残すことができる同サービスは、回線が混雑しているときでも利用できる。ぜひ覚えておこう。